

# 株式会社テラプローブ 決算説明資料

2015年3月期 第3四半期

The background features a complex, abstract pattern of overlapping blue and white geometric shapes, primarily triangles and squares, creating a mosaic-like effect. The colors range from deep blue to light cyan, with white areas interspersed. The pattern is most dense on the left side and fades towards the right.

# 2015年3月期 第3四半期 業績説明

# 今回の発表の概要

## メモリ事業

- 台湾の売上高は過去最高を更新したものの、国内はテスト時間の短縮が進み、売上高、セグメント利益とも減少

## システムLSI事業

- テスト受託は国内・台湾子会社ともに売上高増加(過去最高更新)
- WLP・BUMP受託は事業再構築に伴う生産調整の影響で売上高微減



**前四半期に比べ売上高、営業利益とも減少**

# 2015年3月期 第3四半期 実績

(億円)

		前年同期比較			前四半期比較		
		1-3Q/FY2013	1-3Q/FY2014	YoY増減	2Q/FY2014	3Q/FY2014	QoQ増減
	メモリ	122.0	110.8	-11.2	39.8	35.8	-4.0
	システムLSI	42.7	47.1	4.4	16.0	16.3	0.3
	その他	-0.4	1.8	2.2	0.5	1.0	0.5
売上高		164.4	159.7	-4.7	56.3	53.1	-3.2
	メモリ	20.5	26.0	5.5	10.8	9.2	-1.6
	システムLSI	-5.2	-8.9	-3.6	-2.8	-3.2	-0.4
	その他	-9.5	-8.8	0.7	-2.9	-3.1	-0.2
営業利益		5.8	8.3	2.5	5.1	2.9	-2.2
営業利益率		3%	5%	—	9%	5%	—
当期純利益		2.9	-5.6	-8.5	-0.1	-4.5	-4.4
当期純利益率		2%	-4%	—	-0%	-8%	—

# 2015年3月期 第3四半期実績増減分析①

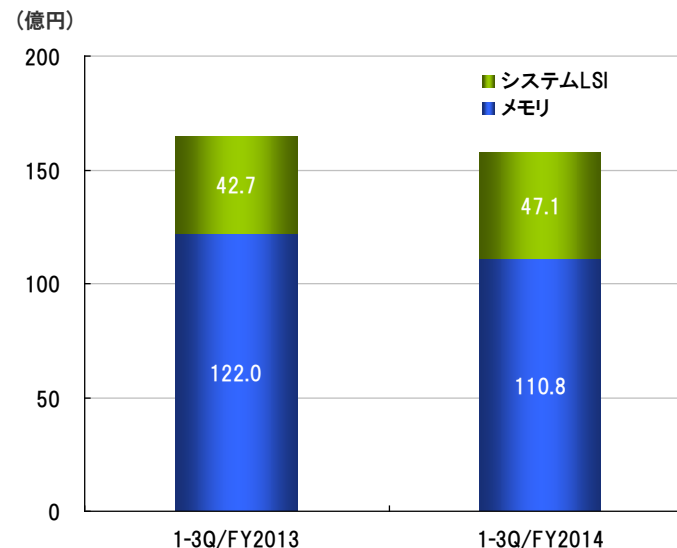
## 2014年度第3四半期累計売上高(YoY)

### <メモリ事業>

- 台湾子会社は増加したが、国内は受託数量の減少とテスト時間の短縮が進展し、減少

### <システムLSI事業>

- WLP・BUMPの受託は減少したものの、テスト受託が国内・台湾ともに増加



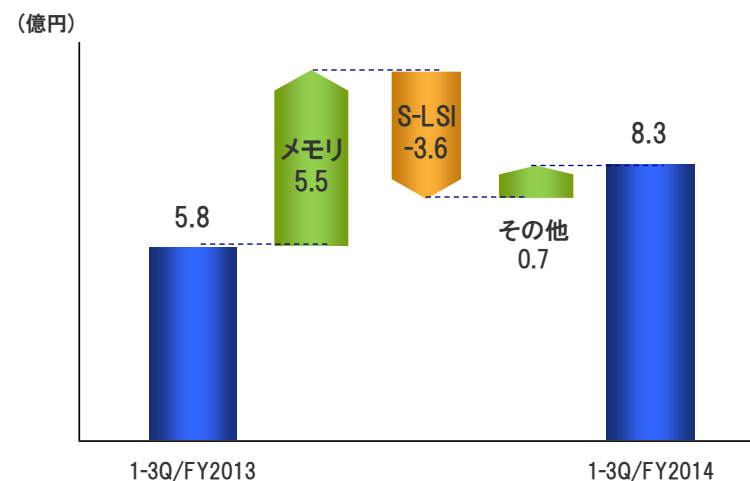
## 2014年度第3四半期累計営業利益(YoY)

### <メモリ事業>

- 売上高は減少したが、減価償却費の減少などにより増益

### <システムLSI事業>

- テスト受託の売上高は増加したが、WLP・BUMP受託の売上高減少により減益



# 2015年3月期 第3四半期実績増減分析②

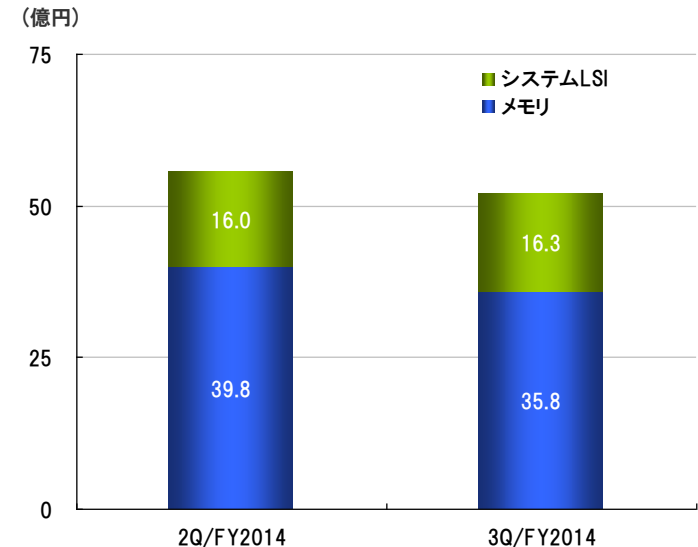
## 2014年度第3四半期売上高(QoQ)

### <メモリ事業>

- ・ テスト時間の短縮が進み、減少

### <システムLSI事業>

- ・ テスト受託は増加したが、WLP・BUMP受託は事業再構築に伴う一時的な生産ライン停止により微減



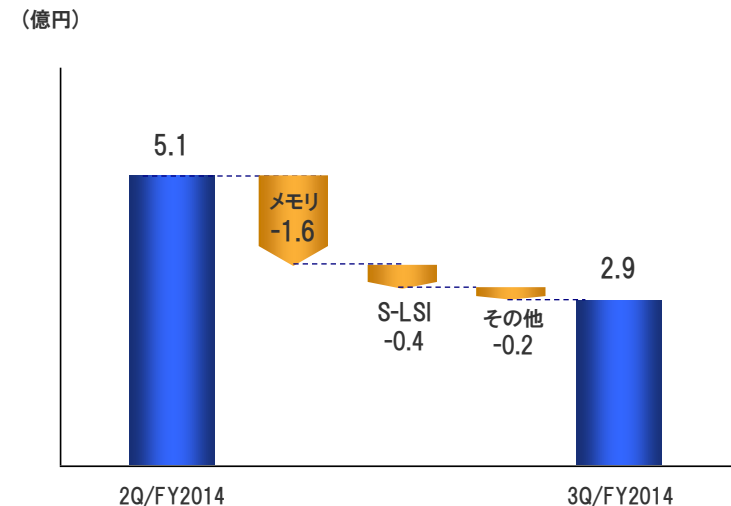
## 2014年度第3四半期営業利益(QoQ)

### <メモリ事業>

- ・ 売上高の減少により減益

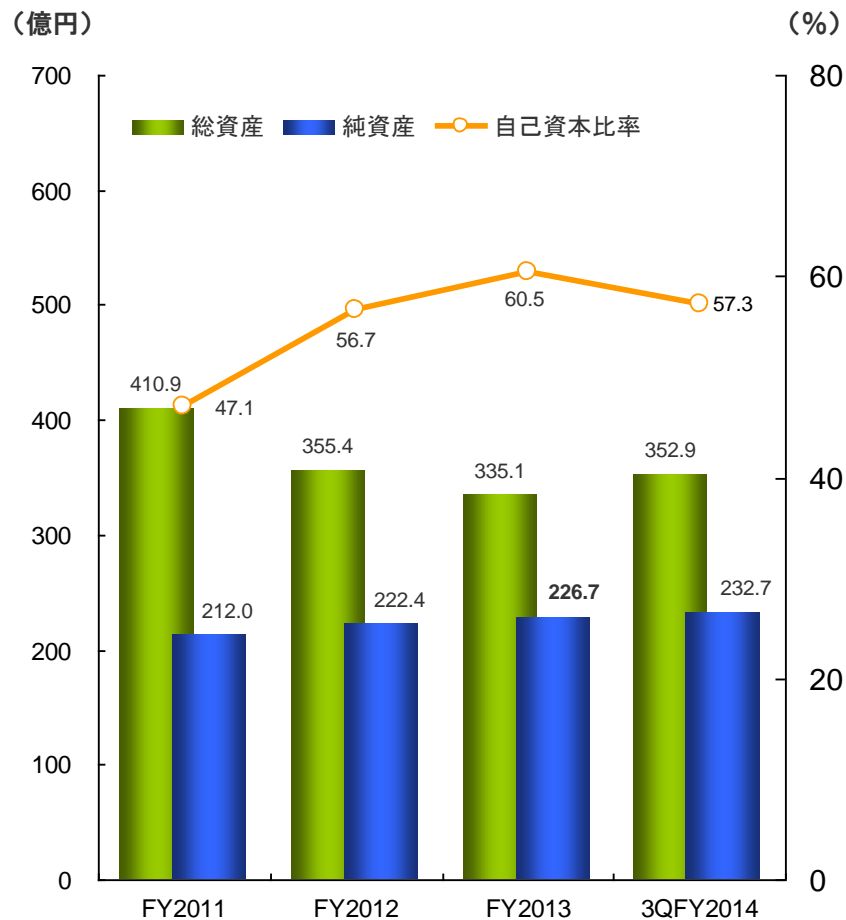
### <システムLSI事業>

- ・ 売上高は微増だったものの製品ミックスの変化により減益

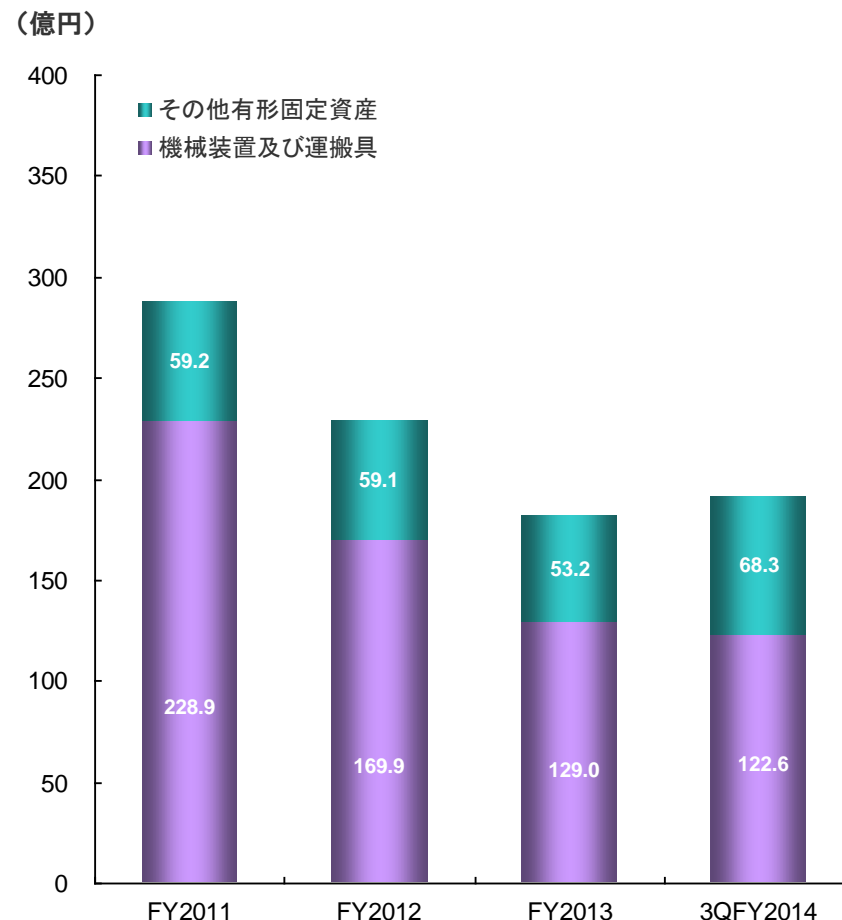


# 財務状況の推移①

## 総資産・純資産・自己資本比率



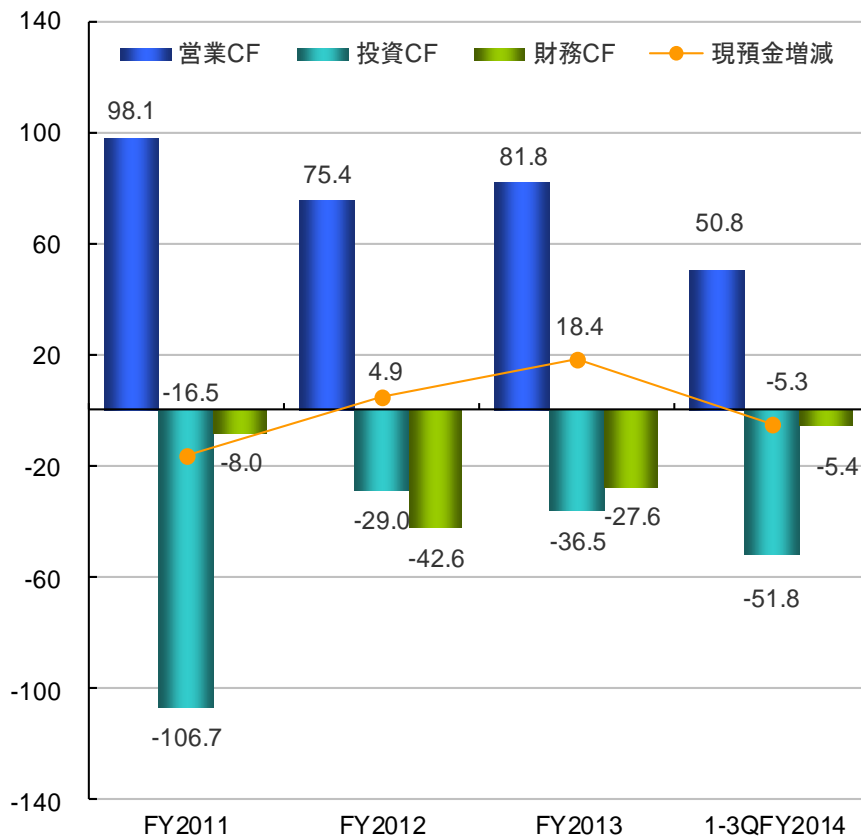
## 有形固定資産の推移



## 財務状況の推移②

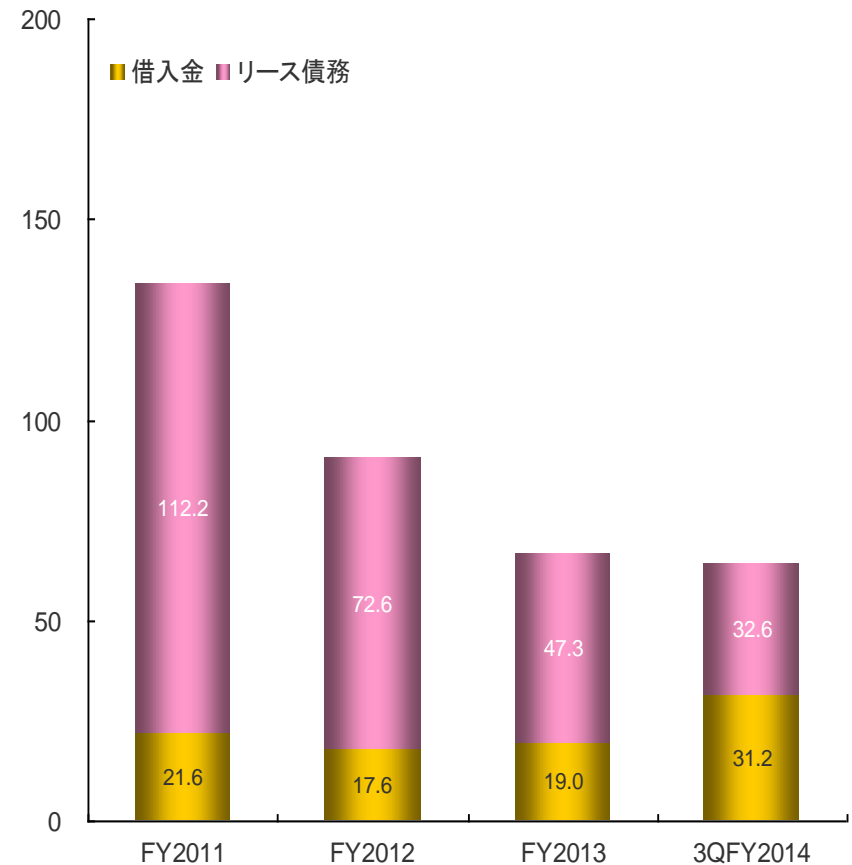
### キャッシュフロー

(億円)



### 借入金・リース債務残高

(億円)

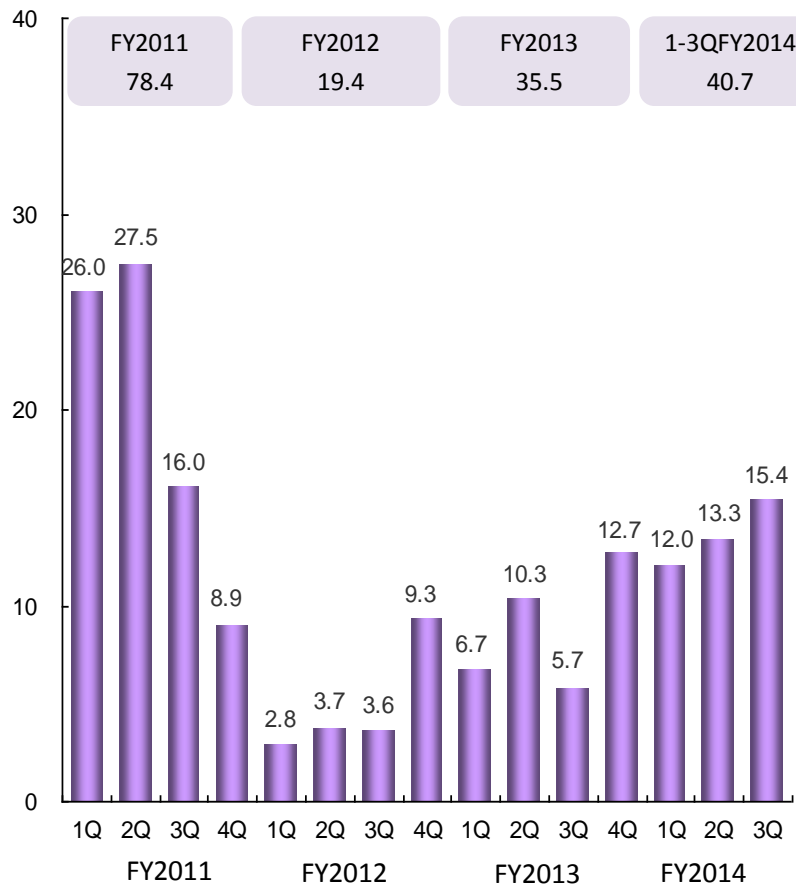




# 設備投資及び減価償却

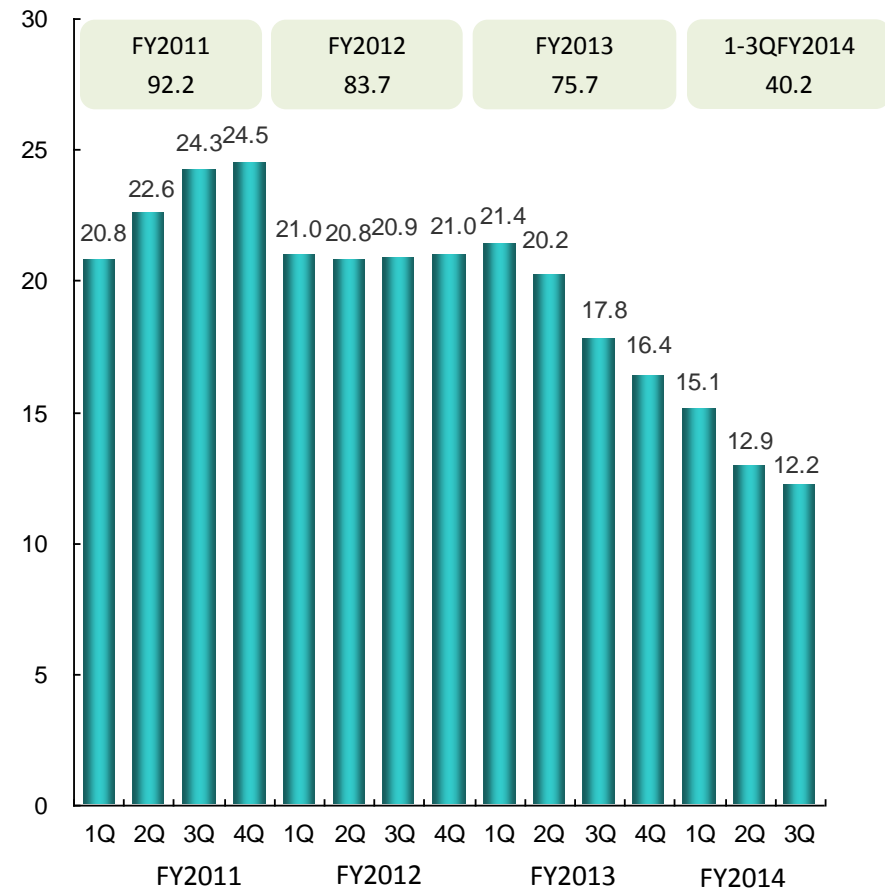
## 設備投資額推移

(億円)



## 減価償却費推移

(億円)



# 2015年3月期 第4四半期業績予想

# 2015年3月期 第4四半期業績予想の概要

## メモリ事業

- 新製品の立ち上がりはあるが、テスト時間の短縮が進み、受託はやや弱含み

## システムLSI事業

- テスト受託、WLP・BUMP受託とも横ばいと予想  
青梅事業所の構造改革による、改善効果は約2億円/四半期

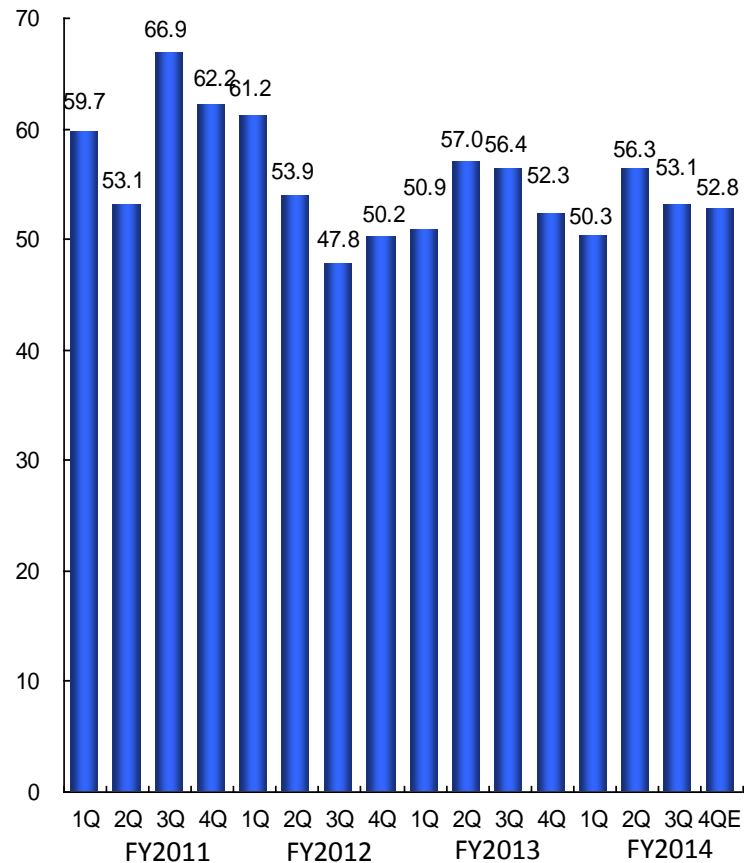


前四半期に比べ  
売上高は横ばいだが、利益は改善

# 売上高及び営業利益推移

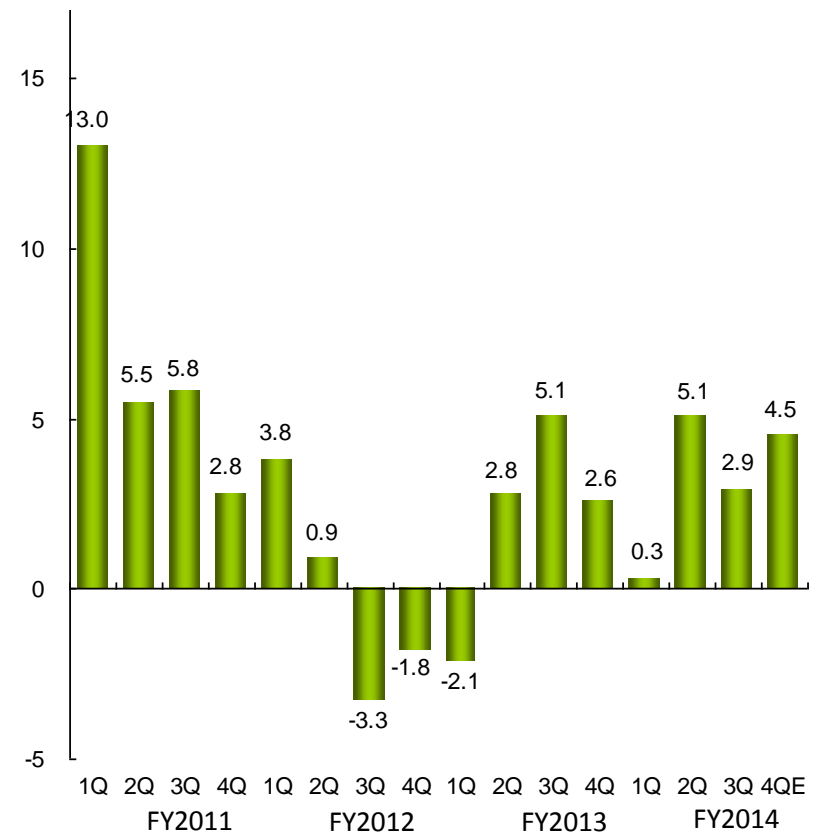
## 売上高推移

(億円)



## 営業利益推移

(億円)



## 本資料における注意事項等

- 本資料は投資家の参考に資するよう、株式会社テラプローブ(以下、弊社)の現状を理解していただくために作成したものです。
- 本資料に記載された内容は、発表時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 投資を行う際は、必ず弊社が開示している資料をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断において行っていただきますよう、お願い致します。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

株式会社テラプローブ

ファイナンス部門

TEL (045)476-5711

URL <http://www.teraprobe.com>